

文化スポーツ部

文化振興課

課長 石川 善啓

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	文化振興課	課CD	18100000
-----	---------	----	-------	-----	----------

事務事業名	音楽文化ホール管理運営事業
-------	---------------

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	音楽文化ホール管理運営費

＜第10次基本計画の位置付け＞

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進
—	—	—

＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	OOMFや信州まつもと大歌舞伎など、文化・芸術の振興	
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

＜事業の狙い＞

事業計画年度

～

クラシックを主とした音楽文化の振興と福祉の増進を図るため、音楽文化ホールの適正な管理運営を図るもの。
また、施設の維持管理に係り、中長期的な視点から施設・設備の延命を図り、利用者の安全性及び利便性の確保を図るための事業を実施するもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 音楽文化ホール運営委員会
ホールの適正な運営を図るため、運営委員会を設置・開催するもの。
- 管理運営
施設の適正な管理運営と、市民に多様な文化芸術を提供するため、指定管理者である(一財)松本市芸術文化振興財団に業務を委託するもの。
- 施設改修
安全性・利便性確保のため、施設設備等の経年劣化及び老朽化に対し、計画的に修繕を行うもの。

＜現状に対する認識＞

・国内外の優れた音楽家を招聘し世界最高水準の演奏を提供したり、県内唯一のコンサート用オルガン等を活用した演奏会や講習会の実施、また、音楽愛好団体等への活動支援や育成援助を実施し、市の音楽文化の向上に努めた。
・施設利用者、鑑賞者数ともに低迷している。特に、自主事業鑑賞者数が目標に大きく届かず、指定管理者と協議のうえ対応が必要である。

＜指標の達成状況＞

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	音楽や芸術に触れていると思う市民の割合				
指標の設定理由	音楽や芸術活動への意識を高める(※H29実績値は、調査対象が20～30才代のみ)				
目標値	52.0%	53.0%	54.0%	55.0%	56.0%
実績値	50.3%	48.2%	58.0%		
達成度	96.7%	90.9%	107.4%		
② 成果指標(指標名)	音楽文化ホール来館者数及び事業参加者数				
指標の設定理由	音楽文化ホールの有効な活用				
目標値	90,000人	91,250人	92,500人	93,750人	95,000人
実績値	74,993人	62,719人	86,742人		
達成度	83.3%	68.7%	93.8%		

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	92,594		358,639		90,757		108,620			
国・県										
利用者負担金										
その他			256,000							
一般財源	92,594		102,639		90,757		108,620			
② 人件費(千円)	15,380	人工	10,486	人工	10,500	人工		人工		人工
正規	15,380	2	7,590	1	7,550	1				
嘱託	0	0	2,896	1	2,950	1				
合計コスト①+②	107,974		369,125		101,257		108,620			
前年度比	—		341.9%		27.4%		—			

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	文化振興課	課CD	18100000
-----	---------	----	-------	-----	----------

事務事業名	まつもと市民芸術館管理運営事業
-------	-----------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	OOMFや信州まつもと大歌舞伎など、文化・芸術の振興	
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	まつもと市民芸術館管理運営費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

文化芸術活動への参画・協力への取り組み意向を持つ市民は多いことから、その受け皿となるよう、ニーズに則した世界的にも高い水準の芸術文化を創造・鑑賞する機会の増加と、市民による芸術文化創造と、その支援及び発表の推進を図る。また、本市の代表的な文化芸術施設としての機能強化と施設整備などの環境整備を進める。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- まつもと市民芸術館管理運営事業
施設の適正な管理運営と、市民に多様な文化芸術を提供するため、指定管理者である(一財)松本市芸術文化振興財団へ業務を委託するもの
- まつもと市民芸術館施設整備事業
舞台・施設設備の経年劣化及び老朽化に対応し、計画的に修繕を行うもの

<現状に対する認識>

・松本からの創造・発信型事業を展開するとともに、県内外から優れた舞台芸術作品を招聘し、多くの市民に鑑賞の機会を提供している。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	音楽や芸術に触れていると思う市民の割合				
指標の設定理由	音楽や芸術活動への意識を高める				
目標値	56.0%	56.0%	56.0%	56.0%	56.0%
実績値	50.6%	48.2%	58.0%		
達成度	90.4%	86.1%	103.6%	0.0%	0.0%
② 成果指標(指標名)	まつもと市民芸術館来館者及び事業参加者数(人)				
指標の設定理由	まつもと市民芸術館の有効な活用				
目標値	212,000	214,000	216,000	218,000	220,000
実績値	251,109	267,076	199,893		
達成度	118.4%	124.8%	92.5%	0.0%	0.0%

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	481,806		520,030		435,425		442,540			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	481,806		520,030		435,425		442,540			
② 人件費(千円)	3,845	人工	7,590	人工	7,550	人工		人工		人工
正規	3,845	0.5	7,590	1	7,550	1				
嘱託										
合計コスト①+②	485,651		527,620		442,975		442,540			
前年度比	—		108.6%		84.0%		—			

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	文化振興課	課CD	18100000
-----	---------	----	-------	-----	----------

事務事業名	まつもと市民芸術館管理運営事業
-------	-----------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		OOMFや信州まつもとと大歌舞伎など、文化・芸術の振興
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	まつもと市民芸術館管理運営費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

文化芸術活動への参画・協力への取り組み意向を持つ市民は多いことから、その受け皿となるよう、ニーズに則した世界的にも高い水準の芸術文化を創造・鑑賞する機会の増加と、市民による芸術文化創造と、その支援及び発表の推進を図る。また、本市の代表的な文化芸術施設としての機能強化と施設整備などの環境整備を進める。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- まつもと市民芸術館事業費補助金交付
指定管理者である(一財)松本市芸術文化振興財団が行う自主事業公演に対し、市補助金を交付するもの。
・(一財)松本市芸術文化振興財団事業費補助金 100,000千円
- 国、県及び民間補助金の活用
国、県及び民間の補助事業を積極的に取込み、指定管理者による自主事業の財源確保に努めるもの。
(30年度実績)
・文化芸術創造拠点形成事業補助金 9,774千円

<現状に対する認識>

・指定管理者である(一財)松本市芸術文化振興財団が、芸術監督をはじめとする専門職員を配置し、多様な文化芸術の提供を実施している。
・松本からの創造・発信型事業を展開するとともに、県内外から優れた舞台芸術作品を招聘し、多くの市民に鑑賞の機会を提供している。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	まつもと市民芸術館来館者及び事業参加者数(人)				
指標の設定理由	まつもと市民芸術館の有効な活用				
目標値	212,000	214,000	216,000	218,000	220,000
実績値	251,109	267,076	199,893		
達成度	118.4%	124.8%	92.5%		
② 成果指標(指標名)	自主事業件数				
指標の設定理由	まつもと市民芸術館の有効な活用				
目標値	35	35	35	35	35
実績値	44	39	36		
達成度	125.7%	111.4%	102.9%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	118,500		113,420		109,774		100,000			
国・県	13,500		13,420		9,774					
利用者負担金										
その他	5,000									
一般財源	100,000		100,000		100,000		100,000			
② 人件費(千円)	3,845	人工	7,590	人工	3,775	人工		人工		人工
正規	3,845	0.5	7,590	1	3,775	0.5				
嘱託										
合計コスト①+②	122,345		121,010		113,549		100,000			
前年度比	—		98.9%		93.8%		—			

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	文化振興課	課CD	1810000
-----	---------	----	-------	-----	---------

事務事業名	松本城世界遺産推進事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		○松本城を世界遺産へ運動の推進
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	松本城世界遺産推進事業

<事業の狙い>

事業計画年度 13 ~ 32

国宝松本城を保護・保存し、次世代へ継承するために、松本城の世界文化遺産登録を目指す過程で、登録の前提となる国内の「世界文化遺産暫定一覧表」記載に必要な調査研究及び市民への普及啓発を実施するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 松本城世界遺産調査研究事業
 - 文化庁の審議結果に対する課題を解決するための調査研究事業
 - 姫路城を含む国宝5城等による「近世城郭の天守群」の、シリアル・ノミネーション(連続する資産)での登録へ向けた関係市等との連携推進
- 松本城世界遺産普及啓発事業
 - 「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会における、市民と行政等の協働による普及啓発事業を実施し、世界遺産へ向けた現状や取り組み等について、市民へ広く周知

<現状に対する認識>

・平成18年及び19年の文化庁による世界文化遺産暫定一覧表記載資産候補の公募から10年が経過するなかで、今後数年以内の再公募を見据えて準備を進める。

<指標の達成状況>

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	世界遺産推進事業に参加した人数(人)				
指標の設定理由	世界遺産登録に向けた事業に参加した人数で市民の広がりを把握するため				
目標値(人)	3,000	5,000	7,000	9,000	11,000
実績値(人)	3,054	5,261	7,475		
達成度	101.8%	105.2%	106.8%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	10,870		13,280		7,647		5,720			
国・県										
利用者負担金										
その他	10,870		13,280		8,210		5,720			
一般財源										
② 人件費(千円)	9,997	人工	15,180	人工	15,100	人工		人工		人工
正規	9,997	1.3	15,180	2	15,100	2				
嘱託										
合計コスト①+②	20,867		28,460		22,747		5,720			
前年度比	—		136.4%		79.9%		—			

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	文化振興課	課CD	18100000
-----	---------	----	-------	-----	----------

事務事業名	波田文化センター管理運営事業
-------	----------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

文化芸術活動への参画・協力意向を持つ多数の市民の要望に応えるため、波田文化センターの維持及び管理運営を行うもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 管理運営	施設の適正な管理運営と、市民に多様な文化芸術を提供するため、指定管理者である(一財)松本市芸術文化振興財団に業務を委託
2 施設改修事業	施設の安全性・利便性を確保するため、施設設備等の経年劣化及び老朽化に対し、計画的に修繕を行う

<現状に対する認識>

・幅広い年代の方が気軽に親しめる自主事業を新たに企画するなど、西部地域の文化芸術の拠点としての役割を果たしている。
 ・施設の利用率向上のため、指定管理者による利用者アンケートの分析や、SNSでの情報発信回数の増加に取り組んでいる。
 ・施設の老朽化が進んでいることから、計画的な改修が必要である。
 ・利用状況等を考慮し、施設の位置づけ及び今後のあり方についての検討を進める必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	音楽や芸術に触れていると思う市民の割合				
指標の設定理由	市民の割合から、文化振興施策の推進状況を図るため(※H29実績値は、調査対象が20～30才代のみ)				
目標値	52.0%	53.0%	54.0%	55.0%	56.0%
実績値	50.3%	48.2%	58.0%		
達成度	96.7%	90.9%	107.4%		
② 成果指標(指標名)	波田文化センター来館者及び事業参加者数				
指標の設定理由	来館者及び事業参加者数から、施設の利用状況・充実度を図るため				
目標値	16,300	16,600	16,900	17,200	17,600
実績値	16,560	18,351	15,423		
達成度	101.6%	110.5%	91.3%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	35,898		37,975		86,610		42,030			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	35,898		37,975		86,610		42,030			
② 人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,265	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3				
嘱託										
合計コスト①+②	38,205		40,252		88,875		42,030			
前年度比	—		105.4%		220.8%		—			

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	文化振興課	課CD	18100000
-----	---------	----	-------	-----	----------

事務事業名	文化振興推進事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	OOMFや信州まつもと大歌舞伎など、文化・芸術の振興	
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	文化振興推進費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

松本市の文化芸術の振興及びそのために必要な機能向上を図るための事業等を実施するもの。
市民との協働による文化の醸成を図り、市民の文化芸術活動への参画・協力の機会を増やすための事業に協力するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 文化芸術振興審議会(1回/年開催)
文化芸術振興基本方針の進行管理と評価検証を行うため、審議会を設置、開催
- 文化芸術表彰(大賞1件、奨励賞1件)
文化芸術活動において顕著な成果をおさめた個人・団体等及び地域の文化芸術振興に貢献した個人・団体等を表彰
- 各種競技会、発表会等出場者祝金交付(4件/年交付)
各種競技会、発表会等に出場する市民に対し、祝金を交付
- (一財)松本市芸術文化振興財団事務局事務
松本市芸術文化振興財団の運営に係る業務の一部委託
- 信州・まつもと大歌舞伎市民活動事業(『切られの与三』9公演 ほか)
信州・まつもと大歌舞伎の関連事業や、ボランティアをはじめとする市民主体の公演運営等活動について、経費の一部を負担
- まつもと演劇祭補助金交付(まつもと演劇祭 1件)
市内で活動する演劇団体の演劇祭に対して補助
- 文化芸術振興フォーラム
松本市の文化芸術の持つ多様性と課題を認識し、地域の活性化を進め魅力的な地域を作るためにトークライブを行う
- アーティストバンクまつもと
松本市にゆかりのあるアーティストを掘起し、情報を集めて公開

<現状に対する認識>

松本市文化芸術振興基本方針に掲げる対象事業について、PDCAサイクルによる進行管理と各事業の評価検証を実施することにより、計画的な文化芸術の推進を図ることができる。
歌舞伎や大道芸などの市民協働事業、祝金・補助金の交付、また文化芸術振興フォーラムの実施やアーティストバンクの拡充等により、アーティストの育成、活動・発表の場の創出及び文化芸術活動の推進を図ることができる。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	音楽や芸術に触れていると思う市民の割合				
指標の設定理由	市民に対する文化振興施策の推進状況を図るため(※H29実績値は、調査対象が20～30才代のみ)				
目標値	52.0%	53.0%	54.0%	55.0%	56.0%
実績値	50.3%	48.2%	58.0%		
達成度	96.7%	90.9%	107.4%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	36,893		26,794		32,688		7,610			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	36,893		26,794		17,877		7,520			
② 人件費(千円)	26,915	人工	27,324	人工	27,180	人工		人工		人工
正規	26,915	3.5	27,324	3.6	27,180	3.6				
嘱託										
合計コスト①+②	63,808		54,118		59,868		7,610			
前年度比	—		84.8%		110.6%		—			

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	文化振興課	課CD	18100000
-----	---------	----	-------	-----	----------

事務事業名	鈴木鎮一記念館管理事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	鈴木鎮一記念館管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

才能教育運動の創始者である、鈴木鎮一氏の住居の保及び関連資料を展示公開し、広く市民等に周知することで、文化芸術意識の広報を図る

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 管理運営
 施設の適正な管理運営と、市民に多様な文化芸術を提供するため、指定管理者である公益社団法人才能教育研究会に業務を委託
- (1) 指定管理者の主な業務
 ア 施設の開錠と施錠
 イ 施設及び敷地内の清掃
 ウ 日常的な維持管理
 エ 設備等の維持管理
 オ 施設案内に関する業務
 カ 職員体制1名
- (2) 実績 平成30年度来館者数4,063人(対前年度比 1,680人減)
 (3) その他 自主事業として、年2回コンサートを実施(参加者150人)

平成30年度は、耐震改修工事を実施し、部分開館を行ったため、来館者は前年度と比べて大幅な減少となった。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	音楽や芸術に触れていると思う市民の割合(市民満足度調査6-3-1)				
指標の設定理由	音楽や芸術活動への意識を高める(※H29実績値は、調査対象が20~30才代のみ)				
目標値	52.0%	53.0%	54.0%	55.0%	56.0%
実績値	50.3%	48.2%	58.0%		
達成度	96.7%	90.9%	107.4%		
② 成果指標(指標名)	来館者数				
指標の設定理由	鈴木鎮一記念館の有効的な活用				
目標値	5,700	5,750	5,800	5,850	5,900
実績値	5,792	5,743	4,244		
達成度	101.6%	99.9%	73.2%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	2,910		3,060		3,060		3,100			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,910		3,060		3,060		3,100			
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1				
嘱託										
合計コスト①+②	3,679		3,819		3,815		3,100			
前年度比	—		103.8%		99.9%		—			

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	文化振興課	課CD	1810000
-----	---------	----	-------	-----	---------

事務事業名	まつもと市民芸術館大規模改修事業
-------	------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	OOMFや信州まつもと大歌舞伎など、文化・芸術の振興	
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	まつもと市民芸術館大規模改修事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

松本市の文化芸術振興と市民自らが文化芸術を創造・享受できる環境提供を図るために設置した市民芸術館の適正な管理運営のため、新たに作成した市民芸術館「中・長期修繕計画」に基づき、開館15年目となる平成30年度から3カ年で舞台設備関係を中心に改修工事を実施するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- まつもと市民芸術館大規模改修工事
 - 舞台照明設備
 - 舞台音響設備
 - 昇降天井及び建築付帯
 - 電気設備
 - 機械設備
 以上5工事及び工事監理業務を委託
- 工期
令和2年1月～2月 ※この間、小ホール閉鎖
- まつもと市民芸術館大階段改修工事に係る工事設計業務委託
曲走式エスカレータを撤去し展示スペースを設置するための工事を実施するため、設計業務を委託

<現状に対する認識>

・開館15年目となるH30年度から3カ年をかけて、舞台設備を中心にした大規模改修工事を実施しており、工事2年目にあたるR元年度は、主に小ホールを2カ月閉鎖した改修工事となる。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	音楽や芸術に触れていると思う市民の割合				
指標の設定理由	音楽や芸術活動への意識を高める				
目標値	56.0%	56.0%	56.0%	56.0%	56.0%
実績値	50.6%	48.2%	58.0%		
達成度	90.4%	86.1%	103.6%		
② 成果指標(指標名)	まつもと市民芸術館来館者及び事業参加者数(人)				
指標の設定理由	まつもと市民芸術館の有効な活用				
目標値	212,000	214,000	216,000	218,000	220,000
実績値	251,109	267,076	199,893		
達成度	118.4%	124.8%	92.5%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	0		0		1,158,278		388,630			
国・県										
利用者負担金										
その他					1,100,300		369,100			
一般財源					57,978		19,530			
② 人件費(千円)	0	人工	0	人工	3775	人工		人工		人工
正規	0		0		3775	0.5				
嘱託	0		0							
合計コスト①+②	0		0		1,162,053		388,630			
前年度比	-		-		-		-			

国際音楽祭推進課

課長 藤森 誠

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	国際音楽祭推進課	課CD	1820000
-----	---------	----	----------	-----	---------

事務事業名	楽都・まつもとライブ
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		OOMFや信州まつもと大歌舞伎など、文化・芸術の振興
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	文化振興推進費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市民による企画・運営により、文化芸術活動をより身近なものにし、また同時に活動者の励みや生きがいを創出する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

楽都・まつもとライブ
地に縁のある音楽団体等によるストリートライブを開催
【30年度実績】
開催回数 22回 出演者数 236人 延観客数8,148人

<現状に対する認識>

市民や観光客が日常的に生の音楽に触れることができ、松本が楽都であることを感じられるような継続的な事業展開が必要

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	音楽や芸術に触れていると思う市民の割合				
指標の設定理由	市民に対する文化振興施策の推進状況を図るため(※H29実績値は、調査対象が20～30才代のみ)				
目標値	52.0	53.0	54.0	55.0	56.0
実績値	50.3	48.2	58.0		
達成度	96.7%	90.9%	107.4%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)		570	570	570	
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源		570	570	570	
② 人件費(千円)	人工	5,132	人工	5,120	人工
正規		4,554	0.6	4,530	0.6
嘱託		578	0.2	590	0.2
合計コスト①+②	0	5,702	5,690	570	
前年度比	—	—	99.8%	—	

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	国際音楽祭推進課	課CD	1820000
-----	---------	----	----------	-----	---------

事務事業名	国際音楽祭推進事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		OOMFや信州まつもと大歌舞伎など、文化・芸術の振興
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	国際音楽祭推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

セイジ・オザワ 松本フェスティバルの共催並びに市独自事業を開催することにより、「楽都・松本」を国内のみならず世界へ発信し、ザルツブルグやタンゲルウッドに並ぶ世界的な音楽祭へ発展させる。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 国際音楽祭推進事業 フェスティバルを支援し、円滑な推進を図るため、市独自関連事業の運営等を委託
2 共催負担金 フェスティバルへの共催負担金を支出

<現状に対する認識>

- 小澤芸術を求めるクラシックファンは世界各地に存在し、毎年注目を集めている。
- リピート率は高く、固定的なファンを多く有する。
- 小澤総監督の後継者とオーケストラのクオリティーの維持が課題である。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	音楽や芸術に触れていると思う市民の割合				
指標の設定理由	市民満足度調査の調査項目(※H29実績値は、調査対象が20～30才代のみ)				
目標値	52.0	53.0	54.0	55.0	56.0
実績値	50.3	48.2	58.0		
達成度	96.7%	90.9%	107.4%		
② 成果指標(指標名)	OMFを鑑賞して、自分も音楽などの文化・芸術活動をやってみたくと思った人の割合				
指標の設定理由	松本市総合計画(第10次基本計画)の進捗管理指標				
目標値	62.0%	63.0%	64.0%	65.0%	66.0%
実績値	71.0%	77.0%	61.8%		
達成度	114.5%	122.2%	96.6%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	250,570		240,300		256,594		200,530			
国・県	65,000		57,600		71,000		15,000			
利用者負担金										
その他										
一般財源	185,570		182,700		185,594		185,530			
② 人件費(千円)	25,920	人工	20,528	人工	20,480	人工		人工		人工
正規	23,070	3	18,216	2.4	18,120	2.4				
嘱託	2,850	1	2,312	0.8	2,360	0.8				
合計コスト①+②	276,490		260,828		277,074		200,530			
前年度比	—		94.3%		106.2%		—			

スポーツ推進課

課長 堀 洋一

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

事務事業名	スポーツ施設管理運営事業
-------	--------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	スポーツ施設管理運営事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

H25~R1

市内76カ所のスポーツ施設について、直営・指定管理制度等により管理運営を行い、利用者が身近な場所で手軽にスポーツに親しめる環境を維持・整備するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

体育館25、運動広場21、庭球場8、プール6、野球場1、サッカー場2、その他13、計76カ所のスポーツ施設の利用受付・調整及び、施設を安全・快適に利用いただくために直営、業務委託、指定管理等により各施設の維持管理及び運営業務を行った。

- 1 体育施設予約等受付
市内大会等予約調整会議の後、前・後期に分けて市民等予約一斉受付を行うほか、施設の空き状況により随時利用受付し、延べ2,576,803人の利用があった。
- 2 施設の維持・管理(修繕・営繕工事)
・給水管、消防設備、屋根等の改修工事31件
・トイレ、ドア、スポーツ器具等の破損修理55件を実施した。
- 3 施設の管理・清掃・保守点検等の委託
・地区体育施設等について、清掃、鍵貸出し等の管理業務委託11件
・清掃委託(清掃、除草他)19件
・保守点検委託(電気工作物、消防設備他)26件を実施した。
- 4 指定管理による施設管理
体育施設のうち、22施設を指定管理者制度の導入により管理・運営(7指定管理者に委託)

<現状に対する認識>

計76施設について、利用者が安全で安心して利用できる適切な管理が必要。
地区体育館は、築30年を目途に大規模改修を計画的に進めているが、各施設とも一定の年数が経過していることから、経常的な修理や、器具・備品等の修繕については緊急性・必要性に考慮しながら、スピード感のある対応が求められる。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	体育施設利用者総数(人)				
指標の設定理由	スポーツ推進計画の基本的数値目標				
目標値	2,900,000	2,900,000	2,900,000	2,900,000	
実績値	2,450,060	2,648,952	2,576,803		
達成度	84.5%	91.3%	88.9%		
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
① 事業費(千円)	464,309	480,221	540,537	501,910					
国・県	8,050								
利用者負担金	86,216	83,164	86,408						
その他	14,660	11,679	14,749						
一般財源	355,383	385,378	439,380						
② 人件費(千円)	46,548	人工	46,328	人工	46,460	人工		人工	
正規	32,298	4.2	31,878	4.2	31,710	4.2			
嘱託	14,250	5	14,450	5	14,750	5			
合計コスト①+②	510,857	526,549	586,997	501,910					
前年度比	—	103.1%	111.5%	—					

事務事業評価票

事務事業名	社会体育館大規模改修事業
-------	--------------

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	社会体育館大規模改修事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

H19 ~ R8

建築後一定の年数が経過した体育館の整備(大規模改修)及び、体育館利用者の安全確保を目的として、耐震補強等を実施するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 大規模改修		
神林体育館(昭和58年開場)及び里山辺体育館(昭和59年開場)について、老朽化部分の改修、耐震補強等を実施		
(1) 神林体育館		
主体工事	68,472千円	
電気設備工事	13,910千円	
機械設備工事	7,992千円	
工事監理業務委託	2,450千円	
(2) 里山辺体育館		
主体工事	57,780千円	
電気設備工事	16,794千円	
機械設備工事	12,091千円	
工事監理業務委託	2,009千円	
		計 181,498千円
2 大規模改修実施設計		
(1)波田体育館 5,778千円		
(2)西部体育館 2,916千円		
		計 8,694千円
3 アスベスト含有調査		
波田及び西部体育館 93千円		

<現状に対する認識>

建設から、一定の年数が経過し、劣化等による修理・改修が必要な状況となっているため、必要性・緊急性に配慮しつつ、スピード感を持って取り組む必要がある。
今後の体育館整備は、公共施設再配置計画に沿って整備を実施。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	利用者数(人)				
指標の設定理由	スポーツ推進計画の基本的数値目標				
目標値	713,000	713,000	713,000	713,000	
実績値	524,111	531,630	539,162		
達成度	73.5%	74.6%	75.6%		
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 事業費(千円)	19,373	163,583	190,285	350,830		
国・県		14,853	4,118			
利用者負担金						
その他		111,182				
一般財源	19,373	37,548	186,167			
② 人件費(千円)	5,383	人工	5,313	人工	5,285	人工
正規	5,383	0.7	5,313	0.7	5,285	0.7
嘱託						
合計コスト①+②	24,756	168,896	195,570	350,830		
前年度比	—	682.2%	115.8%	—		

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

事務事業名	野球場改修事業
-------	---------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	野球場改修事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H28 ~ R2

維持管理に深刻な影響を及ぼしている、施設の雨漏りを改善するもの。
 これまでの雨漏りによって、天井の破損、スタンド観客席のひび割れ、消防設備他への影響が確認されているとともに、全体的に老朽化した施設・設備の大規模改修を行うもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 アスベスト含有調査 211千円
- 2 大規模改修工事実施設計業務委託 13,500千円

<現状に対する認識>

屋内練習場、天井、蛍光灯具、機械設備等、雨漏りが及ぼす影響が広範囲に渡っており、改修の必要性が認められる。
 スタンドの階段が劣化して崩れ、踏み外しなど観客・応援団等の利用にも影響が心配されている。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	241,802		0		13,711		159,480			
国・県										
利用者負担金										
その他	16,000				13,000					
一般財源	225,802				711					
② 人件費(千円)	2,307	人工	0	人工	2,265	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	0	0	2,265	0.3				
嘱託										
合計コスト①+②	244,109		0		15,976		159,480			
前年度比	—		0.0%		—		—			

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

事務事業名	屋内体育施設耐震化事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	屋内体育施設耐震化事業

<事業の狙い>

事業計画年度

H28 ~ R4

屋内体育施設の非構造部材(バスケットゴール・照明・吊天井等)の落下防止及び耐震化等の対策を講じ、利用者が安全・安心して利用できる環境を整備するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

・非構造部材耐震化工事		
安曇体育館(昭和47年開場)	8,586千円	
寄合渡体育館(昭和51年開場)	6,480千円	
芝沢体育館(昭和54年開場)	5,508千円	
乗鞍体育館(昭和55年開場)	5,060千円	
美須々屋内(平成1年開場)	1,262千円	計 26,896千円

<現状に対する認識>

H28年度に市内29施設の屋内体育施設の非構造部材について耐震化調査を実施。計画的に非構造部材の耐震化を進め、安全・安心して体育施設を利用できるよう管理していく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	整備館(数)				
指標の設定理由					
目標値	0	5	7	7	4
実績値	0	5	7		
達成度	-	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	30,402		0		26,896		20,670			
国・県					10,273					
利用者負担金										
その他	0		0							
一般財源	30,402		0		16,623					
② 人件費(千円)	1,538	人工	0	人工	1,510	人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	0	0	1,510	0.2				
嘱託										
合計コスト①+②	31,940		0		28,406		20,670			
前年度比	-		0.0%		-		-			

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

事務事業名	四賀運動広場整備改修事業
-------	--------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	四賀運動広場整備改修事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度 H25 ~ R1

昭和51年の開場から40年以上が経過し、経年劣化等により排水不良等の機能面の老朽化など、利用に著しい影響が見られることから、計画的に施設改修を進めるもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 造成工事の継続
- スタンド等改築主体工事(電気・機械設備含む)に着手

【事業費内訳】

立木補償料	8,419千円		
設計委託料	2,106千円		
監理委託料	684千円(H29繰越分)	4,270千円	
造成工事	0千円		
主体工事	258,952千円(H29繰越分)	126,360千円	
電気工事	3,373千円(H29繰越分)	5,930千円	
機械設備工事	1,934千円(H29繰越分)	2,250千円	
計	275,468千円(H29繰越分)	138,810千円	合計414,278千円

<現状に対する認識>

スタンド等改築主体工事は、増工分の基礎杭を終了。年度内にスタンド部分の基礎工を終了させ、次年度のスタンド本体工事完成を目指し、概ね順調に進捗
電気、機械設備工事も、主体工事にあわせ、概ね順調に推移している。
造成工事は、計画の8割程が完了しており、順調に進んでいる。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	134,079		116,718		414,278		1,192,490			
国・県										
利用者負担金										
その他	100,500		87,500		310,700		894,300			
一般財源	33,579		29,218		103,578		298,190			
② 人件費(千円)	3,845	人工	3,795	人工	3,845	人工		人工		人工
正規	3,845	0.5	3,795	0.5	3,845	0.5				
嘱託										
合計コスト①+②	137,924		120,513		418,123		1,192,490			
前年度比	—		87.4%		347.0%		—			

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

事務事業名	庭球場改修事業
-------	---------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	庭球場改修事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

H28 ~ H32

設置後10年が経過するテニスコートの人工芝を張り替えるもの。
また、クレートコートの人芝生も含め、テニスコートの環境整備を行うもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 沢村軟式庭球場管理棟解体工事 2,268千円

<現状に対する認識>

人工芝設置後10年経過時点を張り替えの目安としている。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	39,290		64,250		2,268					
国・県										
利用者負担金										
その他			64,250							
一般財源	39,290		0		2,268					
② 人件費(千円)	2,307	人工	2277	人工	755	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2277	0.3	755	0.1				
嘱託										
合計コスト①+②	41,597		66,527		3,023					
前年度比	—		159.9%		4.5%					

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

事務事業名	スポーツ振興事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	スポーツ振興事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

H28 ~

スポーツの振興を通じて、市民の健康増進、交流を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

市民がスポーツに参加する機会やスポーツを通じた交流の機会の創出、市民スポーツ活動への支援を目的として以下の事業を実施

1 市主催のスポーツ教室、イベント等の開催

- 市内35地区対抗の市民体育大会秋季大会、春夏秋冬の競技別の市民体育大会、市長杯争奪球技大会(いずれも松本体育協会に委託)を開催し延べ15,000人が参加した
- ファミリースポーツカーニバル(松本市スポーツ推進委員協議会に委託)を開催し、「体力測定」「ニュースポーツ体験」「スポーツ教室」などを通じて、市民がスポーツに触れる機会とした(参加者約750人)
- 親子体操教室、シニア健康教室を延べ60回開催し、2,301人が参加した
- 市民歩こう運動の一環として、「気分爽快ウォーク」を5月に開催し、40人が参加。

2 スポーツを通じた姉妹・友好都市との交流

- 姉妹都市の姫路市、藤沢市、交流都市の金沢市、鹿児島市とのスポーツ市民交流を実施し、松本市、姉妹交流都市合わせて323人が交流した

3 市民スポーツ活動への支援

- 総合体育館内のトレーニング室を延べ34,263人が利用した
- 全国大会出場祝金として各種競技会(ブロック大会以上)及び国体に出場する市民に対して祝金を交付した(延べ254人に交付)
- スポーツ推進員協議会事業をサポートし、地域のスポーツ活動を支援した

<現状に対する認識>

市民体育大会・市長杯争奪球技大会の参加者数や全国大会出場祝金の利用者数はほぼ目標に達し、競技人口の広がり、レベルの向上は評価ができる。

今後はスポーツの裾野を広げるために、各種教室の他、活動しているサークル、団体等を市民に紹介し気軽に参加できる環境をつくる。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	継続的にスポーツに親しんでいる市民の割合				
指標の設定理由	市民満足度調査=成果				
目標値	50.2	52.6	55.1	57.5	60.0
実績値	45.1	35.0	33.1		
達成度	89.8%	66.5%	60.1%		
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	25,513		24,049		23,740		22,860			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	25,513		24,049		23,740					
② 人件費(千円)	15,380	人工	15,180	人工	15,100	人工		人工		人工
正規	15,380	2	15,180	2	15,100	2				
嘱託										
合計コスト①+②	40,893		39,229		38,840		22,860			
前年度比	—		95.9%		99.0%		—			

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

事務事業名	学校体育施設開放事業
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	学校体育施設開放事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み	○市民一人ひとりの健康づくりを支援	
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
	松本版総合戦略		

<事業の狙い>

事業計画年度

H22~H33

社会体育の振興と市民の健康増進を図るため、学校体育施設を社会体育に開放するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 学校教育に支障のない範囲で学校体育施設を計画的に社会体育に開放
 - 2 社会体育の実施に必要な器具、備品、消耗品等について整備を行い、施設の利用環境を整えるもの
- ・小中学校 43校
 - ・延べ利用回数 19,365回

<現状に対する認識>

利用団体数、登録人数は概ね目標に近いが、登録団体は地区単位で活動するグループがほとんどのため、頭打ち感がある。
 今後はスポーツの裾野を広げるために、加入団体等を市民に紹介し気軽に参加できる環境をつくる。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	登録団体数				
指標の設定理由	スポーツをしている市民の割合の増加に係る指標であるため				
目標値	350	350	350	350	350
実績値	339	349	360		
達成度	96.9%	99.7%	102.9%		
② 成果指標(指標名)	登録人数				
指標の設定理由	スポーツをしている市民の割合の増加に係る指標であるため				
目標値	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000
実績値	7,683	7,616	7,891		
達成度	96.0%	95.2%	101.4%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	8,030		7,113		7,737		8,490			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	8,030		7,113		7,737					
② 人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	7,550	人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1				
嘱託										
合計コスト①+②	15,720		14,703		15,287		8,490			
前年度比	—		93.5%		104.0%		—			

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

事務事業名	市民生涯スポーツ振興事業
-------	--------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	市民生涯スポーツ振興事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み	○市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
松本版総合戦略		

<事業の狙い>

事業計画年度

H27~H32

熟年者健康スポーツ支援センター設置及び熟年体育大学を開校することにより、高齢者の体力低下の抑制や健康づくりを行うとともに、受講者同士の交流を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 熟年者健康スポーツ支援センター管理運営事業
支援センター利用者に、個人の目的に応じた健康・運動の情報や方法を提供し、体力保持・増進や生活の質を高め健康的な生活が送れるよう支援(器具を使った筋力トレ、体操などの指導)を実施
- 熟年体育大学総合体育館コース
運動・生活習慣を見直し、運動を継続することによる心身の健康・体力づくりを支援(入学資格 40歳以上 期間 2年間)
【1学年】
・30年度受講者 46名 年22回の講座を実施
【2学年】
・30年度受講者 53名 年14回の講座を実施
【講座概要】
松本大学、信州大学等の講師による健康講座やスポーツ実技、ウォーキング、体力測定、血液検査など

<現状に対する認識>

定員割れをきたしている現状から、広報活動の強化が必要

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	熟年体育大学総合体育館コース熟大生(定員120×2学年)				
指標の設定理由	募集定員に対する受講者数=成果				
目標値	240	240	240	240	240
実績値	197	154	99	114	
達成度	82.1%	64.2%	41.3%	47.5%	
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	9,113		8,561		7,717		8,820			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	9,113		8,561		7,717					
② 人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	7,550	人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1				
嘱託										
合計コスト①+②	16,803		16,151		15,267		8,820		0	
前年度比	—		96.1%		94.5%		57.8%		0.0%	

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

事務事業名	プロスポーツ振興事業
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	プロスポーツ振興事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます
主な取組み		○松本山雅FCを活用した賑わいの創出
5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
松本版総合戦略		③松本製品のブランド化

<事業の狙い>

事業計画年度

H27~H33

松本山雅FCの集客力・求心力を活かし、「みるスポーツ」等による地域振興や中心市街地への誘客に繋げるなど、プロスポーツにより地域活性化の推進を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 松本山雅FC
 - パブリックビューイングの実施
中心市街地等でアウェーゲームのパブリックビューイングを5回実施(4,429人観戦)
 - 観光・グルメマップの作成・配布
13,000枚作成し、ホームゲーム19試合でアウェーサポーターへ配布
 - 臨時駐車場の設置
ホームゲーム20試合で新松本工業団地に約300台分の臨時駐車場を開設(延べ6,426台利用)
 - ホームタウンデーの実施
ホームタウン4市1町2村合同により市の施策や観光・特産品をPR
 - 松本市・鹿児島市文化・観光交流都市デーの実施
鹿児島市と連携して市の施策や観光・特産品をPR
 - 地域交流活動促進事業の実施
松本山雅FCへ委託し、「子育てママさん向け運動教室」等を開催
- 信濃グランセローズ
 - 「松本市民の日」の開催
市の特産品PRや市内全小学校へ無料招待券を配布
 - 松本市野球場の優先使用
- 信州プレイブウォリアーズ
 - 「松本市民デー」の開催
市の政策PRや市内全保育園・小中学校へ無料招待券を配布
 - 松本市総合体育館の優先使用

<現状に対する認識>

松本山雅FCにより地域住民の新たな繋がりが生まれ、地域経済にも大きな効果をもたらすなど、プロスポーツが地域活性化に大きく貢献していることから、継続して取り組む必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	松本山雅FCパブリックビューイング(人)				
指標の設定理由	観客数＝関心度＝成果				
目標値	1,734	1,734	1,907	2,097	2,306
実績値	1,734	1,980	4,429		
達成度	100.0%	114.2%	232.2%		
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
① 事業費(千円)	10,565	8,815	9,424	10,620					
国・県									
利用者負担金									
その他									
一般財源	10,565	8,815	9,424						
② 人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	7,550	人工			
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1			
嘱託									
合計コスト①+②	18,255	16,405	16,974	10,620					
前年度比	—	89.9%	103.5%	—					

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

事務事業名	負担金事業
-------	-------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

H28~H32

各種大会の開催により、他地域との交流を促進させ、交流人口の拡大等による地域の活性化を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

市民がスポーツに参加する機会やスポーツを通じた交流の機会の創出、市民スポーツ活動への支援を目的として以下の事業を実施

- 第16回松本クロスカントリー大会
小学生から大人までが、距離、年齢、性別等により18種目に分かれて実施(885名参加)
- 第28回市町村駅伝競走大会
長野県内の市町村による駅伝競走大会(56チーム 約780人参加)
- 鹿児島市・松本市スポーツ交流事業
「鹿児島市・松本市 文化・観光交流協定」に基づき、スポーツ交流を両市で毎年交互に実施(中学生男女ソフトテニス 54名参加)

<現状に対する認識>

スポーツ大会・イベント開催等を通じた交流人口の拡大により、スポーツによる地域の活性化が図られた。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	松本クロスカントリー大会参加者数				
指標の設定理由	参加者数=成果				
目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
実績値	899	877	885		
達成度	89.9%	87.7%	88.5%		
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	7,826		4,350		6,867		4,350			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	7,826		4,350		6,867					
② 人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	7,550	人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1				
嘱託										
合計コスト①+②	15,516		11,940		14,417		4,350			
前年度比	—		77.0%		120.7%		—			

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

事務事業名	負担金事業
-------	-------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

H28~

マラソンを通じた健康づくり、世代を超えた地域コミュニティの「きずな」の強化、交流人口の拡大と地域経済の活性化を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 第2回松本マラソン大会
(1) 日時 平成30年9月30日(日) 8時30分スタート
(2) 主催 松本マラソン実行委員会、長野陸上競技協会
(3) 共催 松本市、信濃毎日新聞社
(4) エントリー数 マラソン(42.195km) 9,416人 ファミリーラン(2km) 262組(564人)
(5) コース スタート:松本市総合体育館前 フィニッシュ:信州スカイパーク陸上競技場
2 実施内容
(1) 運営ボランティア参加(3,786人)・ボランティア説明会の開催
(2) 協賛企業の募集(オフィシャルスポンサー18社)
(3) 参加者募集
(4) 医療救護計画の作製

<現状に対する認識>

第2回大会は、台風の影響を考慮し中止とした。
第2回大会は参加定員1万人に達しなかったため、第3回大会はより多くのランナーに参加し完走していただくために、制限時間を30分延長し6時間とした。
また、より走りやすいコースとするために、調査・設計をしていく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	松本マラソン参加応募者数(人)				
指標の設定理由	参加応募者数=成果				
目標値		10,000	10,000	10,000	10,000
実績値		10,058	9,416		
達成度		100.6%	94.2%		
② 成果指標(指標名)	松本マラソンボランティア数(人)				
指標の設定理由	募集人数=成果				
目標値		3,000			
実績値		3,227			
達成度		107.6%			

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	22,490		91,870		88,180		93,250			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	22,490		91,870		88,180		93,250			
② 人件費(千円)	7,690	人工	10,480	人工	10,540	人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1				
嘱託			2,890	1	2,950	1				
合計コスト①+②	30,180		102,350		98,720		93,250			
前年度比	—		339.1%		96.5%		—			

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

事務事業名	補助金事業
-------	-------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

H28~H32

市民の多様なスポーツニーズを把握し、ライフステージに応じた生涯スポーツ等の推進を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 市民がスポーツに参加する機会やスポーツを通じた交流の機会の創出、市民スポーツ活動への支援を目的として以下の団体等に補助を実施
- 松本体育協会
競技スポーツと生涯スポーツの普及・振興を図る松本市の総合的な体育団体である一般財団法人松本体育協会へ補助
 - スポーツ推進委員協議会
地域スポーツの推進等を図るスポーツ推進委員協議会へ補助
 - 長野県縦断駅伝競走大会
郡市対抗駅伝大会のため松本市チームへ補助
 - スポーツ少年団
青少年の健全育成、指導者等の育成を図るスポーツ少年団へ補助
 - スポーツ交流大会
競技団体が独自に実施している姉妹都市とのスポーツ交流大会へ補助(松本市:サッカー 75名参加)
 - 全国大会、北信越大会
松本市で開催される大会へ補助(国際1件、全国2件、ブロック7件)
 - ジュニアスキー育成
青少年の健全育成、競技スキー技術の向上を図るスキー団体へ補助

<現状に対する認識>

各種大会、イベントの開催により、スポーツ推進委員協議会では各年代に応じた生涯スポーツの推進、競技スポーツの推進が図られている。

総合評価

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	25,087		27,298		26,217		27,340			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	25,087		27,298		26,217					
② 人件費(千円)	7690	人工	7590	人工	7550	人工		人工		人工
正規	7690	1	7590	1	7550	1				
嘱託										
合計コスト①+②	32,777		34,888		33,767		27,340			
前年度比	—		106.4%		96.8%		—			